

⑩ 日本国特許庁 (JP)
⑫ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
昭57-145684

⑬ Int. Cl.³
B 26 B 19/38

識別記号

庁内整理番号
6553-3C

⑭ 公開 昭和57年(1982)9月8日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ 電気かみそりの充電器

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑯ 特 願 昭56-30167

⑰ 発 明 者 山本真二

⑱ 出 願 昭56(1981)2月28日

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑲ 発 明 者 北村昌巳

⑱ 出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

門真市大字門真1048番地

⑳ 発 明 者 高木武史

㉑ 代 理 人 弁理士 宮井暎夫

明 細 書

1. 発明の名称

電気かみそりの充電器

2. 特許請求の範囲

(1) 充電器本体と、この充電器本体に凹設されて電気かみそりの刃部側を挿入することにより電気かみそりを収納保持するとともに充電させる取付部とを備えた電気かみそりの充電器。

(2) 前記取付部はその内側面の一对向部に充電用接点を有し、これに対向して電気かみそりの両側部に充電用接触金具を有する特許請求の範囲第(1)項記載の電気かみそりの充電器。

(3) 前記電気かみそりの接触金具は刃部の近傍側に設けられている特許請求の範囲第(2)項記載の電気かみそりの充電器。

(4) 前記充電器本体は斜面を載置面とした三角柱であって頂角隣接面の一方に前記取付部が形成されて頂角隣接面の他方に平行に電気かみそりを挿脱するようにしている特許請求の範囲第(3)項記載の電気かみそりの充電器。

3. 発明の詳細な説明

この発明は電気かみそりの充電器に関し、電気かみそりを収納保持するとともに刃保護キャップを不要として随時使用できるようにすることを目的としている。

この発明の第1の実施例を第1図ないし第4図に示す。すなわち、この電気かみそりの充電器は、2個の同一形状のプラスチック製略直角三角筒1、2の開口部を相接合して3本のボルト3で締結することにより斜面を載置面4aとする充電器本体4を形成している。この充電器本体4の直角隣接面4b、4cの一方4bに割り線Cを中心として刃部保持凹部5を一体または接合して形成している。また充電器本体4の内底面に充電用降圧トランス6、ダイオード7および温度ヒューズ8を設置し、人力側となる電源コード9を充電器本体4の直角隣接面4cよりブッシュ10を介して引出し、端部にプラグ9aを設け、出力側となる通電ばね11a、11bを刃部保持凹部5の一对向側板5a、5bの外面に配設し、この側板5a、5bにつば付き接

特開昭57-145684(2)

点12a, 12bを貫通させて接点12a, 12bの外端をばね11a, 11bで凹部5内に押圧している。13はそのリード線である。

一方、電気かみそりAはその刃部a側に接近するかみそり本体の両側部に接触金具14a, 14bを設けて、第4図のように内部配線している。すなわち、15はモータ、16は蓄電池、17は偏心軸、18は外刃、19は往復内刃、Sはスイッチである。この電気かみそりAを充電器本体4に収納するときは、刃部aを凹部5に差込むと隣接面4cに平行に差込み保持される。同時に接触金具14a, 14bが接点12a, 12bに接触するのでプラグ9aをコンセントに差込んでおくと蓄電池16が充電されることとなる。使用するときは電気かみそりAの後端部を把持して凹部5から抜き取り、スイッチSを押すと内刃19が動作する。

このように構成したため、この電気かみそりの充電器はつぎのような効果がある。すなわち、

(1) 充電器本体4に電気かみそりAの刃部a側を収納保持する凹部を形成し、この凹部に充電用

接点12a, 12bを設けたため、電気かみそりAを収納状態で保持するとともに充電でき、必要時に取出すことにより即使用でき、しかも刃保護キャップが不要になる。

(2) 充電用接点12a, 12bは凹部5の対向側部に配設したため、接点相互の短絡を防止しトラブルを未然に防止できる。

(3) 電気かみそりAの接触金具14a, 14bを刃部a側に近設したため、電気かみそりAを充電器に深く差込まなくて収納充電でき、電気かみそりAの着脱性が良い。

(4) 充電器本体4を略直角三角柱体に形成してその斜面を載置面とし、直角隣接面の一方に凹部5を形成し、電気かみそりAの差込み方向および取外し方向を隣接面の他方と平行になるようにしたため、差込み取外しが容易で使い易くしかも安定感がある。

なお、充電手段は充電器本体に1次コイルを設け、電気かみそりに2次コイルを設けて誘導結合により無接触で充電するようにしてもよい。

この発明の第2の実施例を第5図ないし第9図に示す。すなわち、この電気かみそりの充電器は、前記刃保持凹部5の内面にダストバック20を着脱自在に収納し、ダストバック20に電気かみそりAを収納するようにしたものである。ダストバック20は接点12a, 12bに対応して接点挿通孔20a, 20bを形成するとともに、外側面で孔20a, 20bから底部にかけて接点12a, 12bを案内する溝21を形成している。また開口縁のつば22にバック抜き用の指当て切欠き22a, 22bを形成している。

このように構成したため、かみそり収納時に刃部aの外刃刃穴から自然落下したひげ屑Pをダストバック20に集めることができるので、ひげ屑Pの掃除処理が簡単にでき、充電器本体4を汚損することがない。

以上のように、この発明の電気かみそりの充電器は、電気かみそりの刃部側を振入して保持させるようにしたため、電気かみそりの保管と同時に充電できるとともに刃保護キャップが不要になり、

取出せば直ちに使用できるのできわめて便利になるという効果がある。

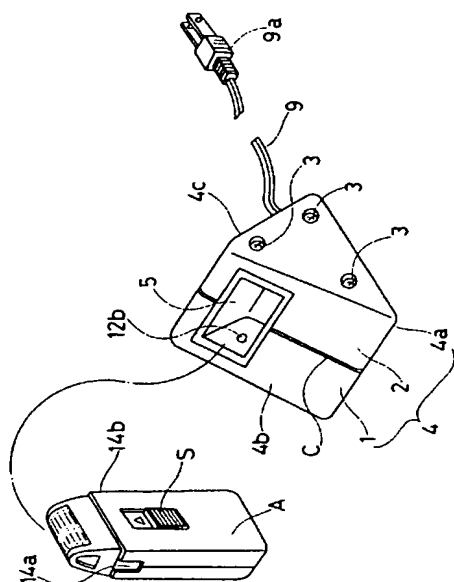
4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の第1の実施例の斜視図、第2図はその断面図、第3図はそのⅡ-Ⅱ線断面図、第4図は電気かみそり収納状態の断面略図、第5図は第2の実施例のダストバックの斜視図、第6図は充電器本体の断面図、第7図はそのⅦ-Ⅶ線断面図、第8図はかみそり収納状態の一部断面図、第9図はダストバックを外した状態の一部断面図である。

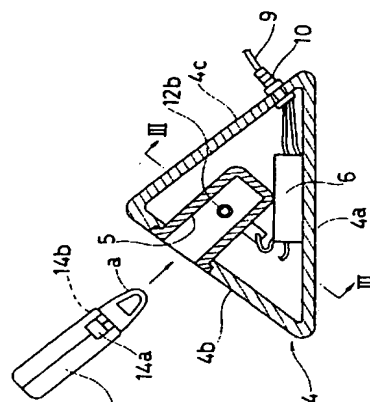
A…電気かみそり、4…充電器本体、4a…載置面、4b, 4c…隣接面(斜面)、5…凹部(取付部)、12a, 12b…接点、14a, 14b…接触金具、20…ダストバック

代理人 弁理士 宮 井 暎 夫

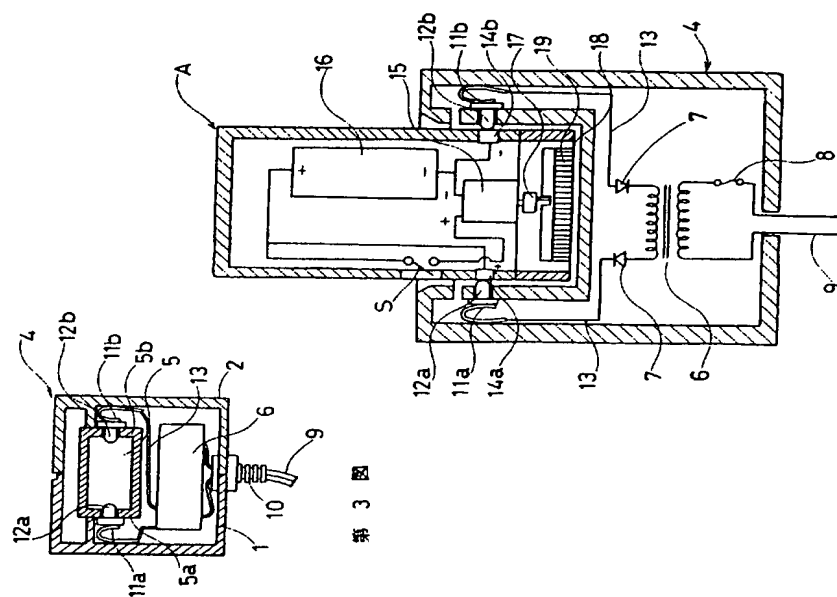




四一五

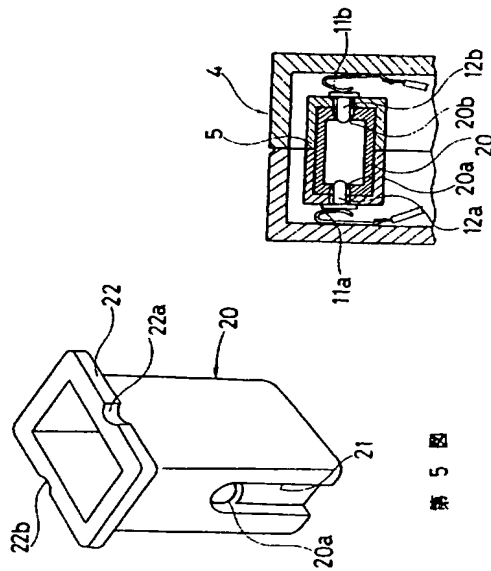


第 2 圖

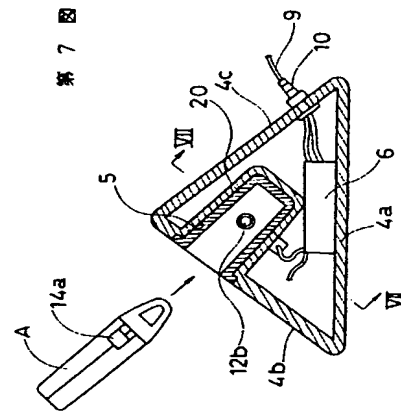


第 3 题

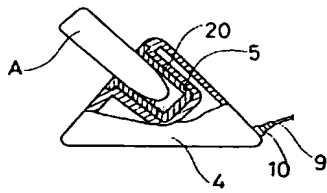




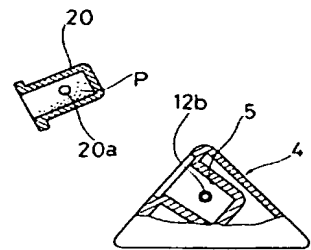
第 5 図



第 6 図



第 7 図



第 8 図

Concise Explanation of JP 57-145684

Application number 56-30167

Published on 19852.09.08

The invention relates a charger for a dry shaver. The charger has a main housing 4 of a triangular shape with a recess 5 formed in one oblique side 4b for holding a cutter head of the shaver A. The recess 5 is provided with a pair of contacts 12a and 12b on opposite side of the recess. When the shaver head is inserted in the recess, the contacts 12a and 12b come into contact with corresponding contact metals 14a and 14b on opposite side of the shaver A for charging a rechargeable battery 16 in the shaver A. As shown in FIGS. 8 and 9, the recess 5 is additionally provided with a detachable dust bag 20 which receives therein the shave head and collects clipped hairs released from the shaver head.

This Page Blank (uspto)